



"Sai no kuni" Saitama  
Saitama  
Prefecture

埼玉県

SAITAMA PREFECTURE

## 概要

埼玉県は、関東平野の中央に位置する1都6県に囲まれた内陸県です。面積はおよそ3,800km<sup>2</sup>で国土の100分の1にあたり、47都道府県の中では39番目の大きさとなっています。

現在、県の人口は718万人です。首都圏に位置することから、東京の発展とともに戦後急激に人口が増加しました。しかし、最近では都心回帰現象などの影響を受けて社会増が急速に減ったこともあり、自然増と合わせても緩やかな増加にとどまっています。

全国的に比較して、快晴日数が多いことや風水害が少ないなどの特徴があります。平成19年8月16日には、県内北部に位置する熊谷市で40.9℃を記録し、日本最高気温を74年ぶりに更新しました。

県内には、人口が密集する大都市や郊外に点在する中小の都市もあれば過疎などの課題に取り組む中山間地域もあります。また、産業も農業、工業からサービス業までバラエティに富んでおり、海がないことを除けば、まさに「日本の縮図」ということができます。

そこで、本県では低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の3つが一体化した将来像として豊かな自然環境と飛躍的な技術革新とが融合している、「再生したみどりと川に彩られた低炭素な田園都市の集合体」をめざしていきます。

日本の縮図ともいべき本県は、国に率先して地球温暖化対策を進め、低炭素な地域社会の実現をめざして、達成状況や成果の発信にも積極的に取り組んでいます。

## 戦略 ～温暖化対策の取組

埼玉県では、地球温暖化対策の視点から2050年の本県のあるべき姿を描き、その達成に向けた中期的目標と実現のための施策を示す「ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050」を、2009年2月に策定しました。

また、3月には、温暖化対策の実効性を高めるための地球温暖化対策推進条例を制定しました。

これに基づき、大規模事業所に対して県が削減目標を設定する本県独自の排出量取引制度を導入するよう、準備を進めています。

さらに再生可能エネルギーの普及にも積極的に取り組んでいます。昨年度から住宅用太陽光発電設備の設置に補助を行うこととしました。全国トップクラスの補助制度で、多くの県民の方々から利用いただいています。

それだけではなく、地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>を吸収してくれるみどりの再生にも取り組んでいます。本県は首都近郊にあって、1950年代以降の高度成長期に多くの緑が失われました。失われたみどりを取り戻すべく、2008年度に県が自動車にかかる税金の1.5%（一台当たり約500円）をみどりの再生に充てる「彩の国みどりの基金」を設けました。これを活用して、2011年度までに約3,000haの森林の保全整備や都市の緑化など、身近な緑の創出を積極的に進めています。

地球温暖化対策は、先進国のみならず世界全体で取り組む必要がある問題です。その中において、国レベルでの施策を待つことなく、むしろ自治体が率先して温暖化対策に取り組み、国をリードしていく心構えで進めていくことが重要です。

わが国では、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、神奈川県の4都県の知事と横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市の5つの政令市の市長が集まり、広域的な課題に共同して積極的に取り組む、九都県市首脳会議を毎年2回開催しています。

この首都圏における温室効果ガスの排出量はわが国の排出量全体の約20%を占めていることから、地球温暖化対策も首都圏で連携して進めています。

また、国外に向けた取組として、2009年9月30日から10月2日まで米国カリフォルニア州において開催された第2回地球気候変動知事サミットに、環境政策に真剣に取り組んでいる都道府県知事として埼玉県知事が選ばれ、知事自らによる開催祝辞及び本県の地球温暖化対策への取組を紹介したビデオレターを送付しました。本県の地球温暖化対策の取組が世界各国の出席者へ、知事の肉声により情報発信されました。

## ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050(埼玉県地球温暖化対策実行計画)の概要

### めざすべき将来像

およそ2050年に「再生したみどりと川に彩られた低炭素な田園都市の集合体」をめざします。

### 計画期間

2009年度から2020年度までの12年間

### 温室効果ガスの削減目標

2020年における埼玉県の温室効果ガス排出量を2005年比25%削減

### 温暖化対策の7つのナビゲーション

1. 低炭素型で活力ある産業社会づくり
2. 低炭素型ビジネススタイルへの転換
3. 低炭素型ライフスタイルへの転換
4. 低炭素で地球にやさしいエネルギー社会への転換
5. 低炭素で潤いのある田園都市づくり
6. 豊かな県土を育む森林の整備・保全(CO2吸収源対策)
7. 低炭素社会への環境教育の推進

### 早期に取り組むべき7つの重点施策

1. 目標設定型排出量取引制度の創設
2. 建築物の環境性能向上
3. 自動車交通の環境負荷低減
4. エコライフ DAY やエコポイント制度の普及促進
5. ビジネススタイル・ライフスタイルの見直し
6. 太陽光発電の普及拡大
7. みどりと川の再生



Photo Gallery ▶ [英語サイトへ](#)

<http://www.unep.org/climateneutral/Participants/Regions/SaitamaPrefecture/tabid/1047/Default.aspx>